

新しい文化は、歴史の中から生まれます。

●— 五角堂と和時計

県文化財に指定されている五角堂と和時計は、江戸時代に谷田部村の名主を務めた飯塚伊賀七の作。伊賀七は工夫

や発明に才を見せ「からくり伊賀七」と呼ばれました。和時計は、文政5年(1822)頃の作で、一部を除いてすべて木製。直径1メートルにも及ぶ大歯車などの部品が精巧に組まれた物です。伊賀七はこのほかにも測量機械や地図、動く人形(近所の酒屋に買物に行ったとか、今のロボット?)、人力飛行機等も発明したと伝えられています。



●— 不動並木



今から300余年前の江戸期に、谷田部藩主・細川興昌が谷田部陣屋大手門から江戸に通じる街道を整備し、松を植栽したもので、県指定の天然記念物として長く谷田部のシンボルとなっていました。しかし、昭和50年代頃から松くい虫の被害にあって衰退、平成13年1月には県指定が解除され、現在は残っていません。

●— 羽成観音堂と天女の絵

牛久城主・由良国繁が、岡見一族の霊を弔うために文禄元年(1592)に建立したもので馬頭観音として信仰を集めました。観音像は弘仁仏とも呼ばれ、弘法大師が羽成を訪れた際に彫り、まつたものと伝えられています。また、観音堂の天井に描かれている、羽のある珍しい天女の絵は、谷田部藩医・広瀬高度16歳(寛政9年、1797)の作品とされています。

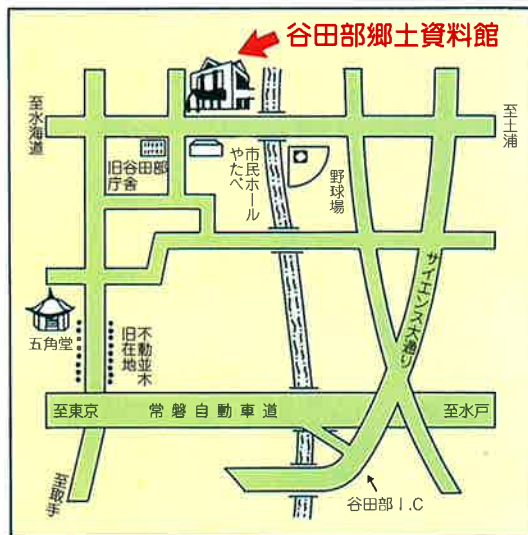


施設のあらまし

谷田部地区に残る数多くの文化遺産の収集・展示・保存を目的として開館されたものです。常設展示したものは、谷田部地区の大地に刻まれている先人たちの歴史の跡をたどることによって、この大地の恵みと歴史の重みを肌で感じとっていただけるように次の6つのテーマに分けて展示してあります。

- | | |
|-------------|-----------|
| I 郷土の自然 | IV 生活と道具 |
| II 大昔をたしかめる | V 谷田部の文化財 |
| III 谷田部の出来事 | VI 飯塚伊賀七 |

- 開館時間 午前10時から午後4時まで
- 休館日 月曜日、祝日、年末年始
(12月29日~1月3日)
- 入館料 無料
- ご利用にあたって 館内での写真撮影や飲食は
ご遠慮ください。
館内は禁煙になっております。
- 交通機関 常磐自動車道・谷田部インターチェンジから車で5分。



つくば市 谷田部郷土資料館

〒305-0861 茨城県つくば市谷田部4774番地の18
谷田部交流センター3階
TEL. 029(836)0139

○展示内容に関するお問合せ○
つくば市教育局
文化財課
TEL. 029-883-1111

谷田部 郷土資料館

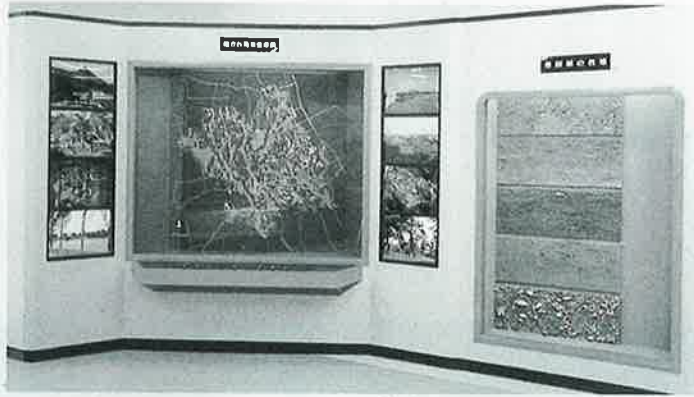
ご案内



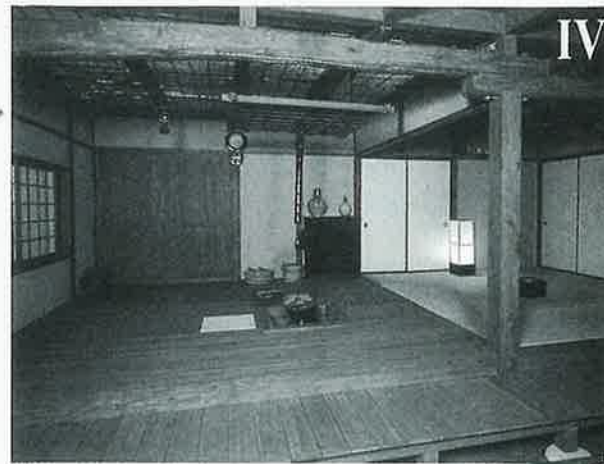
茨城県つくば市

展示の概要

I 郷土の自然



▲空から見た谷田部



▲農家復元

IV 生活と道具

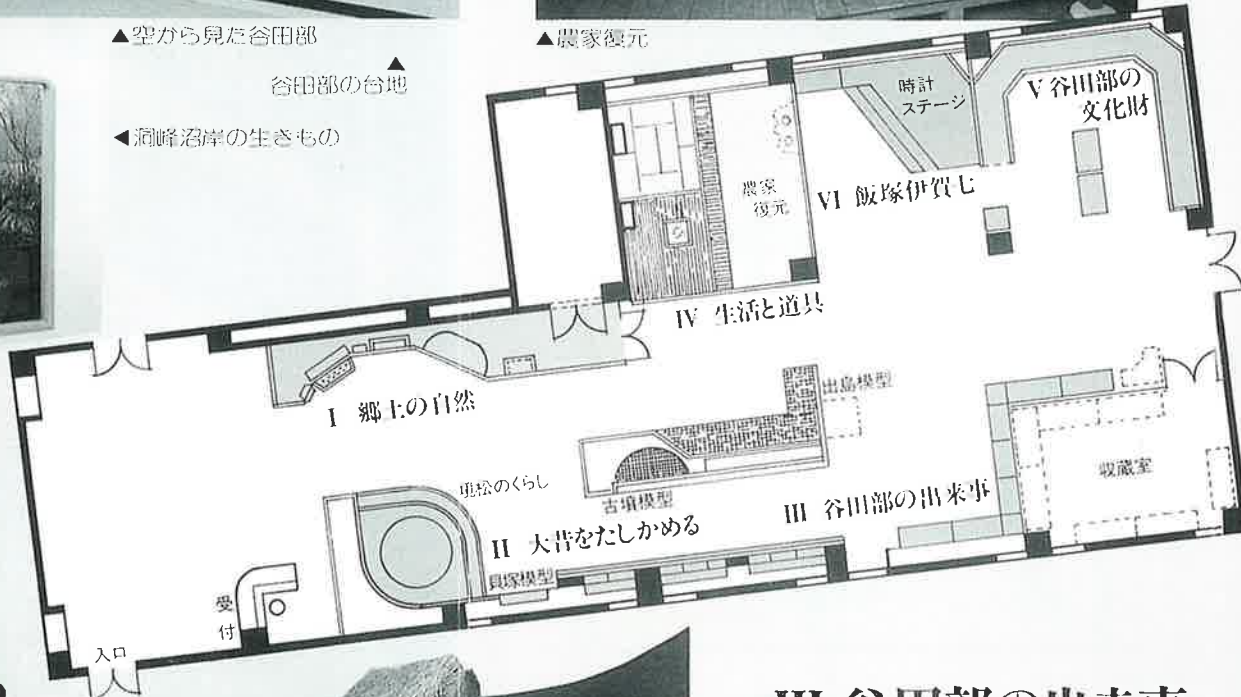


生活と道具



◀滝峰沿岸の生きもの

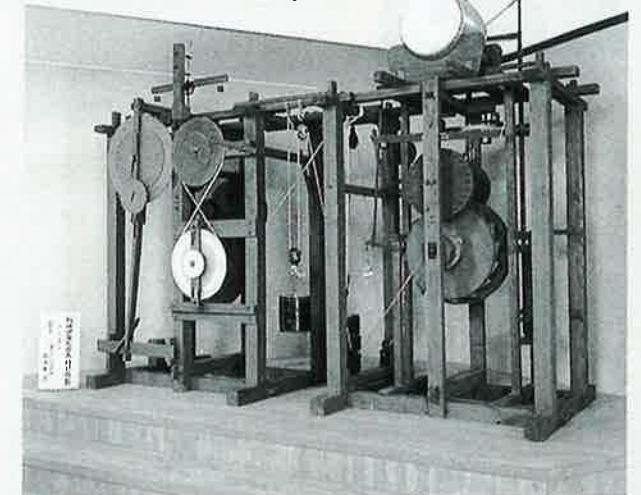
▲谷田部の台地



V 谷田部の文化財



VI 飯塚伊賀七



▲木製大時計

II 大昔をたしかめる



▲▲ 磯松のくらし

III 谷田部の出来事

